

第2回霧島市立保育園あり方検討委員会 会議録

平成24年1月18日(水) 16:00～

国分シビックセンター 第1委員会室

出席委員

高橋 しのぶ、宇都 恵美、泊 奈美、堀之内 美紀、柳 貞光、川畑 隆光、山口 義幸、井上 裕美子、
宮下 朝一、久保蘭 節子

事務局

花堂保健福祉政策課長、新窪政策グループ長、秋丸主任主事、山下児童福祉課主査

< 現地調査(隼人保育園、佐々木保育園)終了後開会 >

委員 みんなよく寝ているなど。集団の中でよくしつけられていると思った。隼人保育園は環境が素晴らしい。素晴らしい保育がなされていた。佐々木保育園は経営が厳しいと思う。

委員 佐々木保育園はほのぼのとして地域ぐるみで保育されている感じ。ただ、どちらも直接の保育内容が見られなかったのが残念。隼人保育園は先生もにこにこされてよかった。

委員 隼人保育園は玄関に職員の写真があって、どんな保育士がいるか一目瞭然で良いと思った。佐々木保育園も同様だった。隼人保育園は入り口や部屋に柵があり、安全面も配慮されていると感じた。佐々木保育園はアットホーム。大自然に囲まれていた。

委員 隼人保育園は今日誕生日会で、自分の子の園と給食のメニューが全く一緒だった。統一されているのか。私立保育園も、見てみたい気もする

事務局 給食は少なくとも下場は献立を立てる人が各園で持ち回りしているので同じになる。

委員 他の委員と語っていたが、お遊戯室があるところ、無いところがあり、同じ公立でもちがう。昼寝の毛布も隼人保育園では四人くらいで大きいのを一枚、うちの保育園は一人一枚。私立保育園の内容は気になる。

委員 霧島市の保育をどうするかということが、あり方委員会と思う。隼人保育園はひとりの保育士でみる児童が多かった。佐々木保育園は限界集落であり、子どもたちが保育を受けやすく、市の負担も少ない形を考えなければいけない。どっちがいいのかを理解しないと判断がつかない。

乳幼児の保育のカリキュラムがどうなっているかが気になった。答申の中にそういうことも含めていきたい。委員会はあと2回だが、収まるのか。子供を大事にしないといけない。もう少し資料も欲しい。

委員 カリキュラムは私立になると独自の色をつけるので公立とはだいぶ違う。

委員 財政的な問題が民営化の理由と説明が前回あった。佐々木保育園は、毎月数十万の赤字のはず。民間ではまず無理。保育園もだし佐々木小学校も統廃合の話が出てくるだろう。アットホームな雰囲気は消えては欲しくないが、民営化との折り合いをどうつけるのか。

委員 小学校の統廃合は昨年教育委員会が二回調査をやっているが、地域の殿堂として残す方向のようだ。

委員 保育園や小学校が無くなるとその地域は無くなる。公立で残さなければいけないようなところも他にもある。地域の視点もいれながら、考えたい。

アンケートの結果を見たが、デメリットであげられているところは、丁寧に説明をすれば、すべて消える。公立の保護者に時間をかけて丁寧に説明しなければならない。検討委員会の回数も時間も無い中で、次のステップにつながる進言をしたい。

それと、佐々木保育園はもう少しお金をかけてもよいのではないか。冷暖房施設、保育材料、遊具も古い。最低限の設備は子どものために必要。必要最低のお金は上場でもかけるべき。私立保育園はいつでも園を開放しています。気になるときはいつでもおこしてください。

委員 佐々木保育園から4キロくらいのところで園長をしているが、佐々木保育園のまわりは意外と家はあったという印象。うちもまわりは8戸しかない。佐々木保育園ももっと子供いるかもと期待した。隼人保育園はあんな街中にあんな自然があって、すばらしかった。

委員 隼人保育園の環境、園舎もまだきれい。経営も十分成り立ってる。園の装飾も先生方ががんばっているなど。いい保育園だと思いました。佐々木保育園は職員は多いなど。園児の給食をそこでつくっているのはいいことだと思う。牧園保育園と近いし一緒にしてもいいのかなとも少し思ったが、保育園がなくなるのは、そこにいる人には大打撃。ただ、今後10年以内はずっと10人以下の見込みということでした。将来的には不安。

委員 上場への目の掛け方なども指摘もあった。

委員 三月までで間に合うのか。

事務局 具体的に園ごとの検討をいただくわけではない。まず民営化をできるのか、できるとすればどこまでか、大枠の方向性の話。

委員 民営化の方向性、民間になった時にどう変わるのか。その説明が必要。民間と公立の違いが保護者にわかるか。社会福祉法人の保育園の土地は国のものになる。無認可とはちがう。保育料も公立と一緒に。基本的な保護者の不安を払拭してやらないといけない。公に負けない気持ちで子どもを預かっている。単に民営化という話だけ走れば不安を煽る。情報の発信もしっかりしていただきたい。

事務局 具体的に民営化の方針が決まり、園が決まればその園の保護者に対して、丁寧な説明が必要になる。

委員 アンケートにも不安が出ている。指定管理による民営化は鹿児島県では無い。選択肢として無いわけではないが、指定管理は更新なので、途中で管理者が変わるおそれがある。それでは、持続的な子どもの育ちが保証できない。社会福祉法人の保育を見ていただいて、理解していただきたい。営利企業は公募のなかに入れて欲しくない。霧島市で実績のある社会福祉法人を第一にして欲しい。保護者の評価も重要視して欲しい。

委員 大まかな方針のイメージは。

事務局 市立の保育園はこうあって欲しい。というところである。

委員 民営化した方がよい具体的な数字までは求められているのか。

事務局 目標があるわけではない。市立の保育園でなければならない部分は何かというところである。

委員 提言はあって欲しいという提言か。

事務局 あり方の提言である。

委員 次回にまた、公立私立のカリキュラムの資料の準備を。